

平成22年度第3回社会教育委員会議事録要旨

1 日 時 平成22年12月17日（金）

午後2時半から4時半まで

2 場 所 県庁4号館2階教育共用会議室

3 参加者 14名（2名欠席）

4 内 容

（1）開会行事

（2）報告

○ 第52回全国社会教育研究大会福島大会について

- ・ 10月27日（水）から29日（金）まで、全国大会に参加した。
- ・ 大会テーマは「『継承』と『創造』が循環する地域社会をつくる社会教育振興の在り方」であり、九州ブロック大会と同様に社会教育の在り方を再度見直そうといった趣旨であることを、大会を通じて感じた。
- ・ 各県とも同じような悩みを抱えており、社会教育の取組の広がりはみられているが、なかなかそれが点としてではなく面としてつながらないといったことなどが出されていた。
- ・ 講演の中で、長期ビジョンの大切さや絆の大切さを再度認識させられた。また、今、社会教育の取組がイベント的になっており、社会教育の重要な部分である「感化」を大切にしなければならないことや教育基本法の13条を再度自覚することが大切であることを学ぶことができた。
- ・ 千利休の言葉に「守・破・離」があるが、社会教育で考えると、「守」は、地域の伝統をしっかり守ること。「破」は、今までの取組だけではなく、創造し、新しいことに挑戦すること。「離」は、今までの地域のしがらみから脱却し、更に新しいことを創造していこう、ということではないか。これらを学んだ素晴らしい大会であった。

（3）説明

○ 審議のとりまとめについて（事務局から）

（4）協議

○ 「学校・家庭・地域が一体となった子どもたちの健やかな成長を促進する教育環境づくり」～「企業等（事業所、経済団体）、関係団体・グループ（NPO、大学、公共施設）との連携・協働」の視点から～

- ・ 提言案をもとにした文章の構成や内容の加筆・修正について意見交換（詳細は省略）

